

若者 × つながる

～SNSから見えるもの～

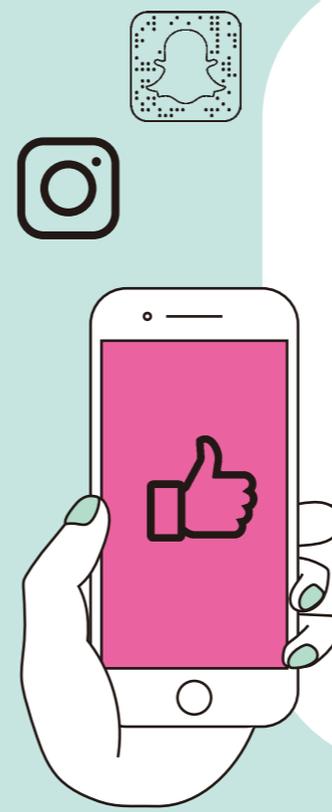
2010年、Twitterで自分が現在どこにいるか、何をしているかなどを書き込む際、文末につけて使う言葉「～なう」が一年の世相を反映した言葉を選ぶ「ユーザー新語・流行語大賞」に選ばれました。さらに、2017年にもInstagramに投稿した見栄えの良い写真を意味する「インスタ映え」が選ばれるなど、ソーシャルネットワーキングサービス(以下SNS)が身近なものとなって久しくなりました。

実際に「2017年度SNS利用動向に関する調査結果」(ICT総研調べ)によると、日本国内におけるSNSの利用者は年々増加しており、2018年末には7,485万人となる見込みです。日本の人口は約1億2647万人なので、半数以上がSNSを利用していると言えます。

しかし、SNSのことをよく知らない、使ったことがない人にとっては、「SNSを使って、見知らぬ相手と話す感覚がよく分からない」「そもそもSNSでどうやって知り合っているの?」「相手とのやり取りが見えない」と思うこともあるのではないのでしょうか。今回の特集では、「なるほど!」「こういう風にSNSを使っているのか」と知ってもらえるように、実際に活発にSNSを使っている若者に話を聞き、その実態を覗いてみました。



LINE



テキサスギャンブラー山村さん (高3・男性)
LINE 90名
Twitter 32名

LINEやったら事務的なことや、個人的に「貸しているCD返して」とかです。Twitterは「誰か教えて」って感じで、LINEやとつまらんことでも返事せなあかんかったりすると自分も面倒くさいので。Twitterやったら「誰か返してもいい」と思う人が返してくれるやろって感じで。テストの時間割とか聞くことが多いですかね。

知らない人との関わりはないです。あんまり話すイメージがつかないというか。

まっきーさん (高1・女性)
LINE 277名
Instagram 567名(本アカウント)
64名(裏アカウント)
9名(空の写真だけ載せるアカウント)
Facebook 0名
Twitter 262名

LINEは遊びに行く約束や雑談、授業のグループワークの計画、自主活動の話合い(頻りに会えないため)、過去問を送り合うのに使います。

大人の人にはLINEで話したりするけど、友だちだったらLINE通話を使うかな。文字に残すとスクリーンショット撮られて拡散される可能性があるし。そういう意味で文字を残しても安心できる大人にしか相談しない。もし友だちに送ったとしても、文章をあとで消してね、と伝えるかな。

LINE入れてない人とか先生とか3人くらいは、メッセージでやり取りしてる。

そう思うとLINEで繋がる範囲は、近畿圏内くらいのイメージ(笑)。Instagramは学校内で、逆にTwitterは日本中の人と繋がっている。LINEでやりとりすることは事務的なアポイントをとることとか。なので、実際にあった人で今後もつながりそうな人。自分が幹事しているグループLINEでなにか発信するときとかは、先に友だちに「反応(返信)してー」って言っとく(笑)。誰か「幹事さんありがとう」って返信すると他の子もしてくれたりしますね。既読スルーはグループLINEやったら普通やけどやっぱりちょっと悲しい。

Facebookは、意外と高校生の間では使っている人が少ないようです。私は登録だけして誰ともつながっていません。

若者4人インタビューしました。

- どんなSNSを使っていますか?
- フォローは何人くらい?
- SNSごとにどんな使い方をしていますか?
- 知らない人とつながるのってどう思っていますか?

とっちーさん (高1・女性)
LINE 118名
Instagram 243名(本アカウント)
7名(裏アカウント)
54名(空の写真だけ載せるアカウント)
85名(趣味アカウント)
Snapchat 1名(※)

Snapchatは留学生とやりとりするのに、「やってないの?」と言われてダウンロードしただけなので、その人しかやりとりはないですね。

私は見知らぬ人に相談はしないかも。経緯を説明するのが大変だし。友だちや先生には会ったときに話すほうがいいと思うし、そのときでいいかなと思う。

短文でのやりとりが多いですね。長文は大人とやりとりするときくらい。それもあってちゃんと話すとか大変だな、と思う。

LINEは雑談や部活の話合い、遊んだときとかの写真を送るによく使う。あとLINE通話もよく使うかな。Instagramは誕生日おめでとうメッセージとか。なので、知らない人との関わりはほぼないですね。

いきなりLINE交換しようって言われると、ちょっと抵抗があって、InstagramやTwitterなら全然いいんだけど。Instagramのいいところは、日常とかを投稿するので、イベントとかで知り合ってる普段やりとりしない人でも繋がれるところ。反面、LINEはやりとりしないと意味ないし。

※snapchatとは、通称「スナチャ」と呼ばれ、メッセージや写真を送り合うことができるアプリです。ただし送ったメッセージが一定時間経つと消えてしまうという特徴があります。

ゲンガーさん (予備校生・男性)
LINE 169名
Twitter 4名(友だち関係)
120名(友だち関係)
1,600名(ゲーム関係)
415名(イラスト関係)
スタディプラス 0名(※)

主に勉強状況や日常会話ですね。友だちや親とのやり取りが多い。

自分の中ではLINEでのやり取りはしないようにしています。文字が残るのが嫌で。直接、親や先生、友だちに会うか、電話して相談します。

知らない人とかかわりはTwitterではあります。でもやっぱりLINEではやらないです。そもそも知らない人とLINE交換は嫌。なんとなく。理由はわかりません。

※スタディプラスは、勉強の進捗状況を記入し管理するアプリです。勉強の記録を共有することでユーザー同士励ましあうなどコミュニケーションをとることもできます。

いかがでしたか。今回インタビューをする前は、SNSで見知らぬ人と気軽にやりとりをする中で悩みを相談しているのではないかと考えていました。

ですが、話を聞いてみると、誰と繋がるのか、どのような内容を話すのかはSNSによって上手に使い分けていました。

LINEでのやりとりは友だちや知り合いが多く、Twitterよりも相手との距離感の近さが出ているように感じます。そのため事務的な連絡やアポイントなどに使われたり、相談につながったりすることもあります。

一方で、文字を残してしまうとスクリーンショットを撮られて、周りに拡散される恐れがあるというプライバシーの面を気にしている声もありました。このことから、悩みはSNSでは相談せず、直接会って話したり電話したりするなど慎重な面もあるようです。

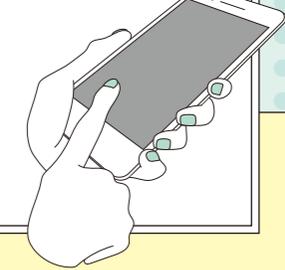
TwitterやInstagramでは、LINEと少しちがう距離感で、日常的に会わない人へ誕生日メッセージを作成したり、テスト範囲をクラスメイトに聞いたりすることに使っています。また、共通の趣味や関心から見知らぬ人も出会う入口にもなっており、そこで関係性ができると深い話をすることもあるようです。

今回取材した内容は、若者全体のほんの一部に過ぎません。ですが、さまざまなことに気を遣いながらも、関係を築いていくという本質的な人との関わりは変わらずに、1つのコミュニケーションツールとしてSNSが確立してる様子を伺い知ることができました。

この記事を通して、SNSを利用する若者への関心をもつきっかけになれば幸いです。

(子ども若者総合相談窓口／子ども・若者支援室特集担当)

ネットで知り合った人と親交を深めている人にインタビューをしてみました



1

ネットで人と知り合うきっかけは？

私の場合は主にTwitterがきっかけです。ハッシュタグ(#)を付けると自分の好きな物で繋がりがやすくなるので、日常で接点のない人とも知り合うことができます。そこで仲良くなっていくとダイレクトメッセージ※1を使うようになって、そこでLINEのIDを交換することもありました。LINEは1対1でずっと喋れますし、写真もすぐ添付できるので日常のことをすぐに伝えやすいんですね。Twitterよりも相手との心理的距離が近い気がします。

※1 ダイレクトメッセージ:1対1で会話ができ、周りからやり取りの見えないTwitter内のコンテンツ。

2

相手とどんなやりとりをしていますか？

LINEは「晩御飯こんなの食べてん」とか、日常的な話がほとんどです。Twitterから仲良くなった人で、LINEで連絡を取っている北海道在住の人がいるんですが、この間の北海道地震で相手の地域で電気が止まってしまって。スマホの充電がなくなるから「電源切るわー」という事態になっていて、心配なのでとりあえずモバイルバッテリーを送ったんです。年賀状のやりとりで住所も教えてもらっていたので、必要な物資を送りました。その後、お礼に銘菓の羊羹を送っていただきました(笑)。

3

会った事がない人でも仲良くなれるのはなぜ？

私は相手のリアルな背景を知らないことに抵抗はそれほどないんです。ネットだから他人に個人的な現実の話をしたくない人もいると思うので、自分からも聞けなかったです。匿名だからこそ、仲良くなれたのかも。逆に、いきなり「会おう」と言ってくる人がいたら困ったと思います。Twitterでは日常的なつぶやきを見られますし、あと、Skypeのビデオ通話を通して、相手の顔を知ることもあるので、会ったことのない人とも気軽に話をする事ができるし、お互いを知っていくこともできると思っています。

4

SNSをしていてよかったことは？

何かあったとき、私の話を聞いてくれたり、私のことを心配してくれることです。人とのつながりがあると実感しますし、お互いにいろんなことが相談できる関係性になっていったことも嬉しいですね。最初から「相談したい」とって連絡が来るのではなく、知り合ってたんだ仲良くなってから、「実はな……」って自分や家族の話をはじめました。そういった関係性になれたのは、お互いにちょっとしたことでメッセージを送り合うとか、そういった日常の積み重ねがあったからだと思います。



なのさん(女性)